

平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 三 先 小 学 校

児童数

75

平均値

	種目別平均								
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	17.04	17.00	28.16	33.04	44.73	9.57	148.44	24.51	49.66
大阪市	16.45	19.14	32.01	38.22	47.80	9.38	149.19	23.45	52.26
全国	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
女子	17.07	16.87	31.93	32.23	38.10	9.49	140.50	14.10	51.40
大阪市	16.00	17.41	36.30	35.86	36.32	9.65	140.82	14.06	52.84
全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70

結果の概要

- ・男子は、「握力」「ボール投げ」で全国平均を上回っているが、他の種目については、大阪市の平均をも下回っている。特に「反復横跳び」「20mシャトルラン」の全国との差は顕著となっている。
- ・女子は、「握力」「50m走」「ボール投げ」で全国平均を上回っているが、他の種目については下回っており、特に「長座体前屈」「反復横跳び」の全国との差は顕著となっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・毎日の朝食や睡眠時間については、日々の児童観察を十分に行い、学習指導や保健指導・食育についての指導などを以前から行ってきたことが成果となって表れている。
- ・地域内でスポーツ活動が盛んにおこなわれていることもあり、土・日曜日に学校外で運動をする時間は、全国平均より長くなっている。
- ・体育の授業では、児童の興味・関心を高めることを意識して日々の授業を行っていることから、「授業が楽しい」「運動が好き」「丁寧に教えてもらえる」と回答する児童が多い。
- ・授業で「できた・わかった」という達成感を持たせる指導を工夫していく。
- ・健康の保持増進や体力の向上が自分にとって大切なことであると、知識としても理解できるようにする。
- ・簡易化した運動やスポーツを教材として取り上げて、日ごろの遊びの中でも取り入れられるようにする。